



名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



桜山キャンパスの桜 [写真提供]名古屋市立大学 伊藤 祐基(医学部5年)

特集

送る言葉。迎える言葉。

～卒業生・新入生の皆さんへ～

- 01 特集
- 02 NCU現場探訪レポート
- 03 TOPICS
- 05 国際交流／学生の活躍
- 06 受賞関連／著書・発行物紹介
- 07 イベントカレンダー／寄附頭彰

DONATION

あなたの力が支えます。
ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：事務局総務課
tel.052-853-8005



送る言葉。迎える言葉。

卒業生・新入生の皆さんに、郡学長が贈られたメッセージです。

名古屋市立大学 理事長 学長
郡 健二郎

平成26年度 卒業式

ご卒業、心よりお慶び申し上げます。

皆さんが入学されたのは、一部の学生を除いて、東日本大震災の直後でした。入学の喜びと被災者への思いが交錯し、生涯忘れることができない年になることでしょう。その後、国際テロ、貧困と格差、虐待などが続き、命の尊さと絆の大切さを、私たちは思い知りました。そこで卒業式の式辞では「愛と未来」をテーマとし、歌手Kiroroの「未来へ」の歌詞とニーチェの箴言を引用し、「マネジメント」の著者ドラッカーの「The best way to predict your future is to create it」を紹介しました。それらの

中で、家族への愛と感謝と、輝かしい未来は自分自身で切り拓くことを話しました。このことは、本学にも言えることで、昨年制定した「名市大未来プラン」は、私たちの手で実現させましょう。

卒業生の皆さん、卓越した能力を遺憾なく発揮され、母校名市大に光を当てる人材になっていただくことを心より願っています。



平成26年度 卒業式・修了式



平成27年度 入学式

平成27年度 入学式

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

入学式の式辞では、本学をより知っていただきたく、スライドを用いました。特に、昨年「大学憲章」の理念をもとに策定した「名市大未来プラン」の中から9つのプランを紹介しました。その一つは、「愛校心の醸成、2020年の開学70周年に向けた気運を高める」ことで、その実現に向けて、今年

おこなう「65周年記念事業」へのご協力を皆さんにお願いしました。

式辞では、Samuel Ullmanの「青春の詩」の一節を紹介しました。

"You are as young as your faith,
as young as your self-confidence,
as young as your hope."

もうひとつ、私の好きな言葉「凌雲の志」を揮毫(きごう)して贈りました。

本学は、輝かしい伝統のもと、世界に冠たる大学を目ざして飛躍しています。そんな名市大の一員になられた皆さんは、母校に誇りを持ち、世界に羽ばたく逸材になれることを願い、教職員一同、厳しくも心温かく応援してまいります。



現場探訪レポート 新連載

名古屋市立大学の取り組みを、学部・研究科・事務局それぞれの「現場」の視点からお届けいたします。

医学研究科

名市大 医療・保健 学びなおし講座 元気を開講中!

温かて信頼される「学び続ける医療人」、質の高い医療人を育成している医学研究科。7年の実績をもち、学校教育法に基づく履修証明書の取得につながる本格的な再教育プログラム「名市大 医療・保健 学びなおし講座」が、本年も4月14日(火)から元気を開講しております。本プログラムは、医療技能職の技術の進歩に対応した能力の向上、育児や介護等により離職された医療人の職場復帰の促進を目標としてい

ます。1科目90分講義の15コマからなる本格的講義で、時代のニーズにあったテーマを毎年設定しています。今年も、春期3講座、秋期3講座の全6科目(合計90コマ講義)を開講します。午後6時30分から午後8時の90分間、受講生の真剣なまなざしと熱気に刺激された講師陣の講義が、桜山キャンパス内の「医学研究科・医学部研究棟11階講義室A」または「西棟1階臨床シミュレーションセンター」で行われます。



「急性期医療」実習の様子

2015年 春期開講講座

4月14日(火)～8月5日(水)

- 火曜日 がんを知ってがんと戦う
～研究・診断・治療・予防の進歩～
- 水曜日 感染症とともに生きる!?
感染症、感染対策のいま
- 木曜日 地域・在宅医療の現状と今後の課題

2015年 秋期開講講座

9月1日(火)～12月22日(火)

- 火曜日 急性期・災害医療スキルアップ
～緊急事態で慌てないために～
- 水曜日 発達障害を学ぶ(2015):
医学的理解から教育/療育へ
- 木曜日 Birth Tour "REAL" 2015
～安全なお産を目指して～



「周産期医療」実習の様子

➔ 詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/index.html>

薬学研究科

五感で感じる薬用植物園見学

薬学部では年に4回、市民を対象にした薬用植物園見学会を開催しています。案内役は薬学部の学生が担当しています。今回、案内役の一人、生薬学分野の鈴木俊章さんにインタビューしました。

Qどんな方が参加されますか?

薬用植物だけでなく、植物全体に関心のある方が多いです。自分で育てたい方に、栽培法を尋ねられて困ったこともあります。

Qどんな工夫をしていますか?

単に見るだけでなく、五感を使って感じる案内を目指しています。匂いはもちろん、シソ科植物は茎が四角いので触っても感じてもらえます。アオダモに含まれる蛍光物質を見てもらう体験をしてもらったり、薬用植物を原料とする生薬の名前の由来を伝えることで、より親しみやすく伝える努力もしています。

Q続けて良かったことはありますか?

講義では聞けなかった薬用植物を身近に感じて、生薬の研究に興味をもちました。説明のためには、自分が深く知る必要があり、教えることで勉強になりました。この案内以外にも、薬学祭では実行委員として製薬体験などで地域の方と触れ合う機会も多く、社会貢献ができて貴重な体験でした。

薬用植物園とは?

薬学教育の一環として、学生に薬用植物や生薬についての生きた知識を学ばせることを目的に設置した植物園です。代表的な薬用植物の収集と栽培を行い、実物を継続的に観察でき、教科書では学べないことも学べる学習環境を提供しています。



生薬学分野
鈴木俊章さん



見学会の様子

TOPICS

開学65周年記念事業 実行委員会レポート 記念式典・記念講演会を 10月31日に開催!

「すこやか・なごやか 未来の創造 一超少子高齢社会への挑戦」をメインテーマとして、開学65周年記念式典及び記念講演会・シンポジウム・パネルディスカッションを、以下のように開催いたします。記念式典・記念講演会の参加申し込み方法等については追ってご案内させていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

■開催日

2015年10月31日(土)
午後1時開始予定

■会場

田辺通キャンパス
宮田専治記念ホール

■プログラム

- ① 記念式典
- ② 記念講演会 演者: 林修氏
- ③ シンポジウム・パネルディスカッション
学内部局の取組の発表・発表者等をパネリストとしたディスカッション



記念式典等会場 宮田専治記念ホール

平成27年度 「名市大の明るい未来を考える会」を 開催

2015年4月22日(水)、病院大ホールにて平成27年度「名市大の明るい未来を考える会」を開催いたしました。開学65周年の新年度にあたり、理事長及び理事が参加した約300名の教職員に対し、前年度の取り組みや成果を振り返るとともに、今年度における抱負・目標を語りました。

開学70周年に向けて大学・病院が進むべき方向性を共有し、「名市大の明るい未来」について全教職員が考えるよい機会となりました。



今後の抱負を語る郡学長

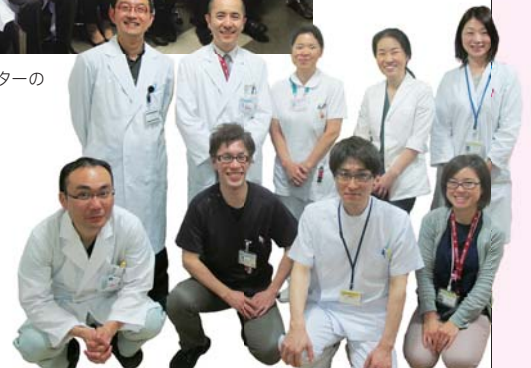
医学部附属病院が、 「総合周産期母子医療センター」の 指定を受けました

医学部附属病院には、産婦人科医2人と新生児集中治療医1人の当直体制によって周産期医療に取り組んできた長い歴史があり、2012年4月1日に「地域周産期母子医療センター」の指定を受けました。その後も、周産期医療の更なる充実を図るため集中治療病床の増床工事や体制整備を進めてきた結果、2015年4月1日付「総合周産期母子医療センター」指定を新たに受けることになりました。

常日頃から「安全なお産」と「後障害無き生存」を目標に掲げて周産期医療に取り組んでおりますが、この度の指定を機に、これまで以上の安心感を市民の皆さまに提供できるよう病院を挙げて取り組んでいく所存です。



総合周産期母子医療センターのスタッフ



医学研究科「不育症研究センター」が 「共同利用・共同研究拠点」に認定

「不育症研究センター」が文部科学省「共同利用・共同研究拠点」に認定され、「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業～スタートアップ支援～」にも補助採択されました。本学は、30年以上にわたり不育症の研究に取り組み、平成26年11月に不育症研究センターを設置し、不育症、先天異常、出生前診断の領域において、地域だけでなく全国から患者が集まり、臨床研究を活発に行っています。今後も本学のみならず国内外において不育症を中心としたヒト生殖のメカニズムの研究に大きく寄与していきます。

TOPICS

DATE 2.20-23

看護学部
リアリティを追求した
新しいシミュレーション
教育技法



Kerry先生(左)がマスクで老人患者に

看護学部教育研究交流委員会では国際交流活動の一環として、オーストラリアセントラル・クィーンズ大学と交流を行っています。今回はKerry Reid-Searl先生を招聘し、2015年2月20日(金)にシリコン製のマスクを身につけた教員が模擬患者に扮して演習を行う「MASK-ED™」の講演会、23日(月)にはパペットを用いて小児とのコミュニケーションを図る「PUP-ED™」のワークショップを開催しました。これまでに見たこともない演習風景が展開され、参加した教員、学生、看護師にとって貴重な体験となりました。

講演で技法の説明をする
Kerry先生(左)



Kerry先生(後列左から三番目)と
参加した看護学部生たち



DATE 3.7

芸術工学部鈴木研究室
東部医療センターに
ホスピタルアートを



2015年3月7日(土)、本学芸術工学研究科鈴木研究室が小児科のホスピタルアートを手がけた名古屋市立東部医療センターの救急・外来棟が完成し、開所式が開催されました。博士前期課程1年篠田さんのリーダーシップのもと、学部1年生がデザイン原案(動物たちの音楽会)を作成、2年生と鈴木研究室の学生たちが現場作業に入り、賑やかな壁画が制作されました。制作にいっしょに参加した看護師さんからは「働きがいがある」と大喜びでした。開所式後の内覧会では「やさしいね」と心温まる言葉が聞かれ、「かわいい」からと2日連続で見学に来たお子さんもいました。

DATE 4.11

医学部附属病院
第1回「サクラ咲くプラン
レクチャープログラム」開催



医学部附属病院では、世界トップレベルの研究者による「レクチャープログラム」の開講を決定し、2015年4月11日(土)に第1回を開催しました。当日は、大阪大学免疫学フロンティア研究センター坂口志文教授より、「制御性T細胞による免疫応答制御：臨床応用に向けて」と題して講演いただきました。学内外から若手研究者、学生を含む200名を超える参加をいただき、当院の「サクラ咲くプラン」に掲げた「研究する病院」という目標を実現する第1歩となりました。

DATE 2.23

男女共同参画推進センター
「女性上位職事例紹介シンポジウム」開催

2015年2月23日(月)、桜山(川澄)キャンパス医学部附属病院大ホールにて、産学官における女性の活躍の好事例を共有し、愛知県内の女性の活躍を推進することを目的に、「あいちから日本へ!世界へ!—女性研究者・女性リーダーの活躍事例紹介シンポジウム—」を開催しました。

当日は、愛知県副知事・吉本明子氏の講演「女性が元気に働き続けられる愛知をめざして」の後、事例紹介とパネルディスカッションを行いました。吉本氏は、愛知県は他県と比べて性別役割分業が強く男女の賃金格差も大きいというデータを示し、女性の活躍推進に向け、これまでの働き方を抜本的に変えていく必要があること、そのために経営者層が率先して改革を進めていかなければならないことを指摘しました。



佐藤洋子特任助教による講演



愛知県副知事の吉本明子氏

「在学生インタビュー」を
ウェブサイトに公開しました

本学の魅力を伝えるためのブランディングサイト「見る・聞く・知る 名市大」では、在学生インタビューを公開しました。学生たちの取り組みや活躍をぜひご覧ください。



▼ブランディングサイトURL
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/branding/interview/student/>

国際交流

INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

国立モンゴル医科大学と交流協定を締結

2015年3月23日(月)、国立モンゴル医科大学と大学間交流協定を締結しました。

同学はモンゴル・ウランバートル市に所在し、医師、薬剤師、歯科医師、公衆衛生師、看護師などを養成する国内で唯一の国立医科系技術者養成機関です。また国際交流に熱心な大学で、24か国144大学と交流協定を締結しており、本学においても今回の締結に基づき、教員・学生との交流や研究分野での情報交換など活発な交流が期待されます。



守特任教授が副センター長退任

2008年4月より、7年間にわたり国際交流推進センター副センター長(2014年4月より国際交流センター副センター長)を務められた守誠特任教授が2015年3月を以て副センター長を退任されました。



任期中は、新たな大学との交流協定締結や本学学生への英語教育指導など本学の国際交流の推進に多大なご尽力を頂きました。

平成27年度 外国人客員研究員等の招へい(2015年7月末まで)

氏名	Dr. Kiattawee Choowongkomon (キアタウィー・チューウォンクオモン)		
国籍	タイ	現職	Assistant Professor (講師) Kasetsart University
招へい期間	2015年6月16日～2015年7月13日(28日間)		
研究課題	糖タンパク質の細胞内運命の決定機構の構造基盤解明		
申請者	薬学研究科 准教授 佐藤 匡史		

学生の活躍!

産学連携コラボ企画 名市大・日本航空・名鉄観光サービス

「旅行商品開発プロジェクト」 グランプリ企画がいよいよ販売開始!

本学経済学部がゼミ活動の一環として2014年6月より取り組んできた、「旅行商品開発プロジェクト」でグランプリに輝いた旅行企画「カメラ女子旅プラン」(大正正道ゼミ4年生チーム)が商品化され、2015年夏の商品として販売がスタートしました。ぜひ名鉄観光サービス(株)の店頭でパンフレットをご覧ください。今年の夏は、北海道・道東方面へのご旅行はいかがですか?



栗原映像研究室

学生作品 「Online Friend」を 109シネマズで上映!

2015年3月15日、芸術工学部栗原映像研究室の学生が手がけた作品「Online Friend」が、名古屋市中村区の109シネマズにて1日限定で上映されました。栗原映像研究室は毎年、企画から脚本づくり、出演交渉、撮影、編集などプロの映画制作の手順にそって作品を制作しており、今ではその完成度の高さに学外のファンも増えています。また、2015年3月22日には卒業制作の短編映画6本が中区の伏見ミリオン座にて上映され、こちらも多くの観客で大いににぎわいました。



陸前高田市特別枠で入学した学生が インタビューを受けました

東日本大震災から4年目の2015年3月11日、本学看護学部へ導入された特別入試枠で入学した学生がインタビューを受け、中日新聞、朝日新聞にそれぞれ記事が掲載されました。



PRIZE

受賞

※受賞期間:2015年2月1日~2015年4月30日 ※敬称略、各研究科ごと・受賞日順に掲載

■医学研究科



日本消化管学会2014年
最優秀賞(基礎部門)
消化器・代謝内科学分野 臨床研究医
田中 守



第267回 日本泌尿器科学会
東海地方会 優秀発表賞
腎・泌尿器科学分野 臨床研究医
岩月 正一郎

■看護学部



日本エイズ学会 ECC山口メモリアル
エイズ研究奨励賞
准教授
金子 典代

名誉教授称号授与

医学研究科 山田 和雄 教授
経済学研究科 向井 清史 教授
人間文化研究科 土屋 勝彦 教授
田中 敬子 教授
藤田 榮史 教授

芸術工学研究科 木本 晴夫 教授
山口 良臣 教授
看護学部 市川 誠一 教授



以上の各位に、2015年4月1日付けで
名誉教授の称号が授与されました。
それぞれの専門分野において研究・教
育に尽力される一方、本学の発展及び
管理運営に大きく貢献された各氏に、
多年にわたるご尽力を感謝するととも
に、今後のご活躍をお祈りします。

ごあいさつ

システム自然科学研究科
高石鉄雄教授が
学長補佐(教養教育担当)に就任

2015年4月1日付で学長
補佐(教養教育)を拝命し
ました。大学憲章には、人
生の様々な局面において
自ら活路を見出すための
思考基盤となる教養を修
得できる教育を行うと書
かれています。その実現のため、新たな全学教
養教育体制づくりと教養教育の方向性づくりに
努力します。



最近発行された教員の著書・発行物等を紹介いたします。

●教職員の皆様へ…本を出版された方は、今後の誌面で紹介させていただきますので、事務局入試広報課までご一報ください。

守特任教授の
「小学校で習った」シリーズ
累計100万部を突破!



BOOK
01

2015年3月 晃洋書房

「日本とアジアの経済成長」
経済学研究科 教授 井上 泰夫



BOOK
02

2015年3月 丸善プラネット

「不確実状況下における
多目的計画問題に対する
意思決定手法」
人間文化研究科 教授 矢野 均



BOOK
03

2015年3月 サンリオ

「小学校で習った言葉
『行きます』を
英語で言えますか?」
特任教授 守 誠

イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ホームページをご覧ください。 <http://www.nagoya-cu.ac.jp/event/>

Human&Social サイエンスカフェ

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
6.20 SAT	第71回 シリーズ「欧米」を考える(2) 『「じゃじゃ馬たち」の文化史～シェイクスピア上演と女の歴史～』 講師:人間文化研究科 教授 小林 かおり	15:00～17:00 桜山(川澄)キャンパス 西棟1階 サクラサイドテラス 費用:1,000円 (スイーツ盛合せ+ 飲み物代)	お名前、連絡先を記入の上、お申込みください。 メール:institute@hum.nagoya-cu.ac.jp TEL・FAX 872-3536 ※開催月の1か月前の第1月曜日(月曜日が休日の 場合はその翌日)より申込開始。 ※第71回は連休明けの5月7日(木)～。

サイエンスカフェ イン 名古屋

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
6.19 FRI	第100回「長さ、面積、フラクタル図形の不思議な世界」 講師:システム自然科学研究科 教授 能登原 盛弘	18:00～20:00 中区栄 ナディアパーク7階 7th café(セブンスカフェ) 費用:600円 (飲み物+お菓子)	お名前、連絡先を記入の上、お申込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL 872-5802 FAX 872-1531 ※開催日の翌日より、次回開催分の申込受付開始。
7.17 FRI	第101回「えせ科学にだまされないために」 講師:システム自然科学研究科 教授 森山 昭彦		
8.21 FRI	第102回「ヒトも動物も、動いてなんぼ ～進化を踏まえた健康づくり～」 講師:システム自然科学研究科 教授 高石 鉄雄		

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
7.4 SAT	地域連携セミナー 「高齢者と共に生きる社会 ～認知症や高齢者虐待に地域で取り組むために～」 講師:高見 靖雄氏(東浦町高齢者相談支援センター)	13:00～15:00 桜山(川澄)キャンパス 看護学部棟3階308講義室 費用:500円(資料代)	看護実践研究センターホームページ http://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center 問い合わせ メール:n.center@med.nagoya-cu.ac.jp
7.12 SUN	第5回 炎症性腸疾患患者さんのための医療講演会 ①IBDに対する当院での栄養管理の取り組み 講師:医学部附属病院 管理栄養士 寺西 絵美 ②炎症性腸疾患における最新の内視鏡検査法 講師:医学部附属病院 消化器内科 尾関 啓司 ③潰瘍性大腸炎治療時の注意点 講師:医学部附属病院 消化器内科 谷田 諭史	13:00～14:40 桜山(川澄)キャンパス 医学部附属病院 病棟・中央診療棟3階 大ホール 費用:無料	申込不要 対象:炎症性腸疾患患者さんとその家族、 炎症性腸疾患の病気や治療に 関心のある方

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
8.21 FRI - 23 SUN	芸術工学部 卓展 学生主体で行っている成果発表の展覧会です。	10:00～17:00(23日のみ10:00～16:30) 北千種キャンパス 費用:無料	申込不要

寄附顕彰

※五十音順。2015年1月1日から3月31日までに寄附いただき、公表に同意された方。

大学振興基金へのご寄附ありがとうございました。

■個人

10,000円以上
非公表

本成 充 様
郡 健二郎 様、田坂 忠嗣 様、
種村 光代 様、種村 慶弘 様

■団体

100,000円以上 東海岩手県人会 様

感謝状贈呈式が行われました

田坂忠嗣様より、看護学部へ高額の
ご寄附をいただきました。
そのご厚意に対し、3月6日(金)桜
山(川澄)キャンパスにて郡理事長
より感謝状が贈呈されました。
贈呈式には看護学部生も出席し、
田坂様への感謝の気持ちと、勉学
への意気込みを伝えました。



ご意見・情報 募集中!

<本学教職員の皆さまへ>

広報誌「創新」のご感想や掲載したい情報を、ぜひ事務局入試広報課までお知らせください。
また、広報に関する報告・相談には、教職員限定サイト「広報ホットライン」をご活用ください。

ご協力ください

敷地内・周辺道路は禁煙です。

